

# 支笏湖ビジターセンター便り

2022年(令和4年)1月号 Vol. 145

## 山線鉄橋

### お色直し完了しました！

明けまして

おめでとうございます  
今後もマスク着用・消毒のご協力  
をお願いいたします！



朝日が当たり光輝く鉄橋



ビジターセンター出入口に飾った松をあしらった正月飾りは、今年も支笏湖地区パークボランティアの方からいただきました。



昨年9月から山線鉄橋の塗装作業が行われていましたが、12月下旬に塗装が終了しました。解体修理を終えた平成9年以来、初の「お色直し」です。塗り替えられた鉄橋は太陽の光が反射しピカピカに輝いています。

冬期間、鉄橋は危険防止のため通行はできませんが春には散歩コースにぜひ取り入れてください。その時は特に恵庭岳方向の景色がおすすめです。

「山線鉄橋」は、湖とそこから流れ出る千歳川の境界にかかる橋で、北海道最古の現役鉄橋です。明治の末、王子製紙が発電所の建設と支笏湖一带の木材を苫小牧まで搬出するために敷設した王子製紙苫小牧工場専用鉄道（王子軽便鉄道）の名残です。廃線後は千歳市に寄贈され、人道橋として整備されてきました。「山線鉄橋」は千歳市の有形文化財に指定されています。2007年には国の近代化産業遺産に登録され、2018年には土木学会の土木遺産にも指定されています。

## 大雪まいった！支笏湖温泉

1月11日～12日にかけて積雪約40cm



### 「野鳥の森」遊歩道さんぽ

「休暇村支笏湖」周辺の森を歩いて見つけた  
旬の自然を紹介するコーナーです  
『森の忍者？』ゴジユウカラ〜

森の中で「フィ・フィ・フィ・フィ」という鳴き声が聞こえると彼らの登場です。支笏湖の森の常連ゴジユウカラです。写真のように背が青っぽい灰色、腹は白く、目に黒い線（アライイン？）があり、精悍な顔つきです。足が丈夫で樹木の皮をしつかりつかめるため、垂直真上はもちろん、真下へも移動できます。さらには枝の下側を逆さまになって歩くことができるのです。まるで忍者ですね。

一夜が明けたら、ビジターセンターの周囲は雪！雪！雪！積雪深は75cmでした。気温の高さから積もった雪は水分を含んでずっしりと重く、隣の建物に歩いて行くのにも力いっぱい雪を漕ぐように進んでいくしかない状態でした。

この日は除排雪に時間がかかってしまい、来訪者にご迷惑おかけしたことをお詫び申し上げます。



12日朝の積雪深は75cm！

## 支笏湖温泉 の気象

支笏湖畔の気温・降水量  
～気象庁アメダスによる  
平年値と今年の観測～

気温(°C)

	平年値	今年
12月上旬	-1.2	2
中旬	-2.8	-1.1
下旬	-3.5	-5.8
1月上旬	-4.2	-5.7

降水量(mm)

	平年値	今年
12月上旬	36.4	79
中旬	25.6	9.5
下旬	35.4	6.5
1月上旬	30.6	26.5

12月は、1日の日最高気温が12.5℃と同月としては観測開始以来最も高くなるなど上・中旬の気温が高く推移しました。下旬に冷え込んだものの月平均気温は平年値より0.7℃高い-1.8℃でした。12月下旬の冷え込みは1月に入っても続き月上旬の平均気温は-5.7℃と、平年値より1.5℃も低くなっています。

発達した低気圧による暴風雪に見舞われた11日、支笏湖温泉では同月としては観測開始以来7番目に多い57.5mmの雨量があり、支笏湖ビジターセンターの観測では40cmの積雪となりました。

2021年の日平均気温は7.9℃、日最高気温平均は11.7℃、日最低気温平均は4.5℃。日平均気温は1979年の観測開始以来、90年の8.0℃に次ぐ2番目の高さでした。ちなみに79年の日平均気温は6.7℃、日最高気温平均は10.4℃、日最低気温平均は3.2℃でした。

## アクティブ・レンジャー の日記



環境省支笏洞爺国立公園管理事務所  
アクティブ・レンジャー(自然保護官補佐)  
荒川 真吾

皆さん、明けましておめでとうございます。支笏湖周辺もすっかり雪景色。この時期に支笏湖上空で見られる野生動物といえば、翼を上げると2mを超えるオジロワシとオオワシです。北海道で見られるワシの多くは、ロシア極東地域から越冬のため渡ってきていて、河川を遡上するサケなど、魚類を主な餌としています。両種とも、国内希少野生動植物種に指定されている希少種ですので、もし見かけたら驚かしたりせず、そっと見守ってあげましょう。

ワシたちが生きる豊かな支笏湖周辺の自然を、いつまでも守っていききたいですね。今年もよろしくお祈りします。

## 第44回 2022 千歳・支笏湖氷濤まつり

1/29～2/23



氷濤まつりは、材木や鉄管で組み立てた骨組みに、支笏湖の水をスプリンクラーで吹き付けて凍らせた氷像が立ち並ぶお祭りです。氷像は大小合わせて約30基。高さで最大で13mです。吹き付ける湖水は不純物が少なく、このきれいな水で造られた氷像は「支笏湖ブルー」と呼ばれる独特な色を放ちます。

氷像を通して、支笏湖の自然の豊かさを感じ堪能してください。

今回から氷像の資材を環境への負荷低減につながる素材を順次取り入れるなど環境保全活動にも力を入れながら開催されるとのことです。環境を守りながら、氷濤まつりが今後も回を重ねていけるといいですね。

## 自然ふれあい行事 参加者募集

1月28日(金) 真っ暗支笏湖!

ちょっとそこまで! スノーシュー体験

定員: 10名

時間: 16:30～18:00

内容: 夜の森をスノーシューでゆっくりと歩きます。「氷濤まつり」のライトアップ(試験点灯)を「ちょっと上から!」見下ろすこともできます。

## 多目的展示室 展示紹介

支笏湖小学校児童作品展

1月15日(金)～2月8日(火)

最終日は13:30まで



ビジターセンターから歩いて10分くらいのところにある支笏湖小学校は全校児童10名の小さな学校です。国立公園の豊かな自然の中ですくすく育った子供たちの元気な作品の数々を、ぜひご覧ください。

絵画、版画、自然素材の工作、壁新聞など作品はバラエティーに富んでいます。

支笏湖ビジターセンター運営協議会発行

〒066・0281 北海道千歳市支笏湖温泉番外地

TEL 0123・25・2404

HPアドレス <http://shikotsukovc.sakura.ne.jp>

【開館時間】 ※入館無料

4月から11月 午前9時から午後5時30分まで

12月から3月 午前9時30分から午後4時30分まで  
(火曜日休館)

年末年始休館日 12月29日から1月3日まで